

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年3月14日

1.本園の教育目標

①「健康」健康で明るく元気に満ちた子どもに ②「積極」素直で何事にも自分から進んで力いっぱい取り組む子どもに ③「協調」友たちと仲良く遊び、思いやりの心ができる子どもに

2.本年度重点的に取り組む目標・計画

年々、温暖化等の影響による気温上昇の日々の中での保育が常態化する中で、園児や教職員が安心安全な環境下で質の高い教育・保育を維持し為、保育内容をできるだけ保護者へ伝え、協力いただきながら、常に子どもたちのための最善な方法を模索し、チャレンジする。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	あいさつの大切さを再認識し、率先して教職員が行動することで、園児たちが、主体的に元気なあいさつをできるように取り組み ゆたかな心の醸成を目指す。	A	以前と比べて、職員が率先して大きな声で挨拶をしている姿が見られ、それに伴い園児も気持ちのいい挨拶ができる子が増えたように思います。
2	園児、保護者、教職員との積極的なコミュニケーションを意識し保護者と連携し、充実した教育・保育につなげる。	C	園児と職員のコミュニケーションはよく取れていましたが、保護者とのコミュニケーションは極端に忙しい家庭も多く、なかなか連携が取れなかった場面が見られた。
3	年々特別な支援の必要な園児が多くなり、他の園児たちが偏見なく、やさしい心でみんなが日常生活を行うことを目指す。	A	教職員が意識を持って取り組み、特別な支援の必要な園児と偏見無く日常生活を行う様子が、多く見られた。

評価(A→十分に成果があった B→成果があった C→少し成果があった D→成果がなかった)

4.総合的な評価結果

評価	理由
B	教職員の一人一人が、課題改善に積極的な取り組みが見られ、少しずつではあるが、それぞれの場面で成果があった。残された課題も引き続き取り組むことが重要である。

評価(A→十分に成果があった B→成果があった C→少し成果があった D→成果がなかった)

5.今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	行事のあり方	認定こども園になり、働く保護者が多くなり、行事等の運営において、保護者のお手伝いに負担が多くなり、やりたい保護者とそうでない保護者のバランスを考慮しながら、行事のあり方を模索していく。
2	連 携	保護者、教職員との積極的な連携を更に意識し、充実した教育・保育につなげる。
3	職員間の引継	毎年職員の担当の変更や職員の入れ替わりの中、職員間の積極的な会話を促し、引継ぎ事項の重要性に気付き実行する。

6.学校関係者評価委員会(評議委員会を活用)の評価

本年度も「ANGEL SMILE」をテーマに笑顔で取り組む姿勢が多く見られました。また、園の課題の取り組みも、職員個々が積極的に取り組み、難しい課題も少しずつ成果が得られたと思います。

保護者アンケート評価、公開保育における評価でも今年度も高い評価を頂きました。今後はいただいたご意見を精査しより良い教育・保育に努力されることを望みます。